

『「あいさつ」「清掃」「合唱」を柱としたピア・サポート活動の推進』

藤枝市立大洲中学校

月別	ピア・サポート活動 ピア・サポートを中心に据えた行事	プログラム	職員研修
4月	1年生を迎える会 体育大会団決め式	<ul style="list-style-type: none"> 1年生への生徒会長歓迎の言葉、執行部紹介、部活動紹介。 異学年どうしの縦割り集団の決定、各団で写真撮影を行う。 	ピア・サポート担当と特別活動主任で今年度の活動を検討 職員会議でピア・サポート活動の具体的な取組を提案
5月			
6月	小学生への読み聞かせボランティア 小中合同あいさつ運動 小学校6年生による中学校見学	<ul style="list-style-type: none"> 中学生が小学校を訪問し、読み聞かせを行う。 小学生が中学校を訪問し、授業や休み時間の様子を自由に参観する。 	ピア・サポート研修会の報告
7月	体育大会種目説明会・結団式 生徒会選挙 小中合同リサイクル活動		
8月	体育大会・団練習	<ul style="list-style-type: none"> 体育大会に向けた練習や当日の活動を通して、仲間との絆を深め、「あこがれの連鎖」を生み出す。 他学年へメッセージカードを贈り、互いの努力を認め合う。 	ピア・サポート研修会の報告
9月	体育大会団練習・係別会合 体育大会 体育大会振り返り		
10月	縦割り合唱交流会 文化発表会 文化発表会振り返り 大洲ふれあいスポーツの集い ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> 体育大会での絆を基に、歌おう活動や合唱交流を通してさらにクラスや縦割りでの絆を強める。 歌おう活動を通して、互いを認め合うことの大切さを実感できるようにする。 	ピア・サポート担当と後期生徒会担当で、後期の活動の検討
11月	生徒大会 大洲ふれあい祭りボランティア 小学生への読み聞かせボランティア 小中合同リサイクル活動 小学校との清掃交流	<ul style="list-style-type: none"> 生徒大会を通して、今後の大洲中学校の目指すべき姿について全校生徒で考え、共有する。 	
12月	これまでの生徒会活動の振り返り 第1回歌おうミーティング		
1月		<ul style="list-style-type: none"> 前期の活動を振り返り、昇降口に掲示する。 歌おう活動における目標をクラス全員で話し合い、決定する。 	
2月	ファイナルコンサートの準備 3年生を送る会の準備 球技大会		
3月	3年生を送る会 ファイナルコンサート 感謝のつどい	<ul style="list-style-type: none"> 1・2年生を中心に、3年生への感謝の気持ちを表す機会を設ける。 	

あいさつ運動
(月・木)
個別ペットボトル
キャップ回収

第1ステージ
共生

第2ステージ
夢挑戦

第3ステージ
感動

第4ステージ
自立

第5ステージ
感謝



1 本校のピア・サポート

本校では、「あいさつ」「清掃」「合唱」が、生徒や教師だけでなく保護者や地域の方も「大洲中の自慢」と胸を張って言える学校を目指している。これらの活動については、生徒の自己肯定感や自己有用感の向上を図るとともに、互いを認め合い、思いやりの気持ちを醸成することを目的としていることから、本校のピア・サポート活動の根幹として位置付けている。



2 特徴的な活動

① あいさつについて〈提言1・5・6・8〉

6月には小中交流朝のあいさつ運動があり、中学生が大洲小学校の児童会メンバーとともに小学校内をあいさつをしながら回った。開催した5日間の参加希望者は合計で508名にもものぼり、大勢の生徒が校舎を回りながら、あいさつを交わす姿が見られた。帰校後、あいさつに対して前向きな感想を述べる生徒が多く見られた。

② 清掃について〈提言1・4・5・6・7〉

日々の清掃活動では、膝をついて床を真剣に水拭きする姿や、普段は人目につかないような水道の排水溝をきれいに磨く姿などが見られる。また、小中間で清掃に対する意識を高めるための交流が行われた。小学校から、清掃のスローガンである「だいじ（黙って 一生懸命 時間いっぱい）」を意識して、1年生から6年生の全校児童が清掃に取り組む様子が動画で送られ、中学校の全校生徒で動画を観る時間を設けた。小学校低学年の児童も清掃に真剣に取り組んでいる姿を見て、小学生の手本となるような清掃を行えているか、自分たちの姿勢を見直す機会となった。



③ 合唱について〈提言1・4・5・6・7〉

帰りの会に「歌おう活動」の時間を設け、各クラスの歌おう執行部員が活動内容の決定・指示・振り返りを行う。執行部員やパートリーダーの指示を受け、クラス全員が日々の活動に真剣に取り組んでいる。時にはフォロワーからリーダーへ、活動内容や取組についての改善点を提案し、全員でよりよい合唱をつくっていくための話し合い活動を行うこともあった。



10月に行われた文化発表会では、これまでの歌おう活動の成果を発揮しようと、多くの生徒が学級合唱や学年合唱の練習に対して主体的に取り組むことができた。昼休みもクラス合唱や練習の改善点を話し合ったり、指揮者と伴奏者が自主的に練習を行ったりと、各クラスが工夫して合唱づくりに励む様子が見られた。

文化発表会の振り返りの中で、他クラス・他学年の合唱の様子から自分たちの今後の合唱活動に向けた意欲を更に高め、文化発表会後もより素晴らしい合唱をつくろうとする姿が見られた。

3 本年度の成果と来年度に向けて

本年度は新型コロナウイルス感染症対策による規制が緩和された分、小学校との交流や全校規模の活動などを昨年度よりも活発に行うことができた。また本年度は、生徒がタブレット端末（TeamsやSharePoint）を活用して、行事や執行部活動の様子を発信し、その成果を共有したり、互いを認め合ったりする姿が見られた。

しかし学校評価アンケートの中で、「あいさつの声が小さいように思う」「自分があいさつをしても、返してくれない人がいる」といった意見も見られ、生徒の中では「本当の三自慢」にまだ達成できていないという思いが見られる。

来年度も引き続き、三自慢の強化・推進を柱に「本当の三自慢」として生徒も教師も誇りをもてるよう、校内の活動だけでなく小学校・地域との交流を一層推進していくことで、ピア・サポートへとつなげていく。